

PAT-NO: JP02000190984A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000190984 A

TITLE: MEDICINE BAG

PUBN-DATE: July 11, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KOMATSU, HISASHI

HIWATARI, JO

COUNTRY

N/A

N/A

INT-CL (IPC): B65D027/00, A61J001/14 , B65D027/04

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make account possible for housed medicines while confirmation of the housed medicines being secured and to decrease occurrence of crumples at the time of manufacture or printing by a method wherein at least one of the surface and reverse sides of a medicine bag is formed in translucency with its surface side made adaptable to printing, and both of the overse and reverse sides of the bag are made of paper materials.

SOLUTION: A bag obverse side piece 2 made of translucent impregnated paper and a bag reverse side piece 3 made of wood-free paper are put together and glued with an adhesive 4 of wet-emulsion type, and thereby a medicine bag 1 is formed. The surface of the bag obverse side piece 2 is entirely coated with a paint film made of a polyvinyl alcohol binder and a pigment such as synthetic silica to form an acceptor layer which becomes a printing surface P, and information regarding a patient including name of patient, name and dosage of medicine, date and the like is printed thereon with an inkjet printer.

Thereby, account can be made easily without taking the medicine out of the medicine bag and furthermore, since the bag is made of paper materials which are hardly shrunk by heating and pressurization, occurrence of crumples can be reduced at the time of manufacture.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (2):

SOLUTION: A bag obverse side piece 2 made of

translucent impregnated paper and a **bag** reverse side piece 3 made of wood-free paper are put together and glued with an adhesive 4 of wet-emulsion type, and thereby a medicine **bag** 1 is formed. The surface of the **bag** obverse side piece 2 is entirely coated with a paint film made of a polyvinyl alcohol binder and a pigment such as synthetic silica to form an acceptor layer which becomes a printing surface P, and information regarding a patient including name of patient, name and dosage of medicine, date and the like is printed thereon with an **inkjet printer**.

Thereby, account can be made easily without taking the medicine out of the medicine **bag** and furthermore, since the **bag** is made of paper materials which are hardly shrunk by heating and pressurization, occurrence of crumples can be reduced at the time of manufacture.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-190984
(P2000-190984A)

(43) 公開日 平成12年7月11日 (2000.7.11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
B 6 5 D 27/00		B 6 5 D 27/00	V
A 6 1 J 1/14		27/04	B
B 6 5 D 27/04		A 6 1 J 1/00	3 9 0 R

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

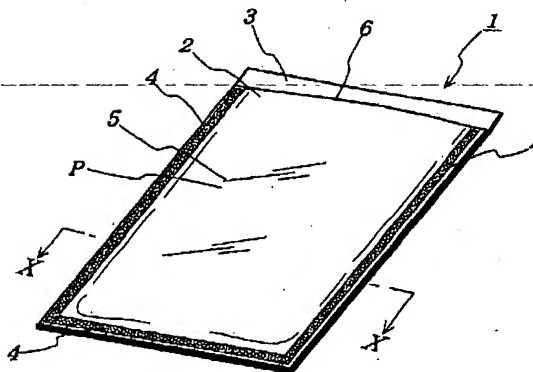
(21) 出願番号	特願平10-377661	(71) 出願人	000110217 トッパン・フォームズ株式会社 東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地
(22) 出願日	平成10年12月29日 (1998. 12. 29)	(72) 発明者	小松 久 東京都江戸川区北小岩8-7-17
		(72) 発明者	樋渡 丈 埼玉県鶴ヶ島市上広谷45-2-201

(54) 【発明の名称】 薬 袋

(57) 【要約】

【課題】 収納されている薬を取り出すことなく、これらを確認しながら患者へ説明ができ、さらに、その製造時あるいはプリント時、その加工上必要な押圧ないし加熱によるシワの発生を減じたり、あるいは防止できる構造の薬袋の提供。

【課題の解決手段】 収納されている薬を確認できるように、薬袋の少なくとも一方の袋片身を半透明とし、その表面側をプリント面とすると共に、袋片身を紙製部材とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 開口部が施された薬袋であって、該薬袋の袋部を形成する袋上片身と袋下片身の内、少なくとも一方が半透明であると共にその表面側がプリント面とされてなり、かつ、前記袋上片身と前記袋下片身とが共に紙製部材からなることを特徴とする薬袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は医療機関、薬局などにおいて、患者に渡す薬を封入するための薬袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、薬袋には、その一方の袋片身に氏名、日付、服用方法などを記載し、該当する薬を収納していた。そして、患者への薬の支給時に効能、服用方法、注意事項などを説明する際、薬袋よりいちいち薬を取り出して説明を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来の薬袋では、患者への説明時には薬袋から薬の取り出しと収納に手間がかかるばかりか、薬袋が多種にわたる場合には薬袋への再収納時に誤収納が生じる恐れもあるという不都合がある。また、薬袋の製造時あるいは薬袋へのプリント時、少なくともどちらか一方の袋片身が合成樹脂フィルムからなる場合には、その加工上必要な押圧ないし加熱により、該合成樹脂フィルムからなる袋片身が伸縮してシワが生じるといった問題がある。

【0004】そこで、本発明は、収納されている薬を取り出すことなく、これらを確認しながら患者へ説明ができ、さらに、その製造時あるいはプリント時、その加工上必要な押圧ないし加熱によるシワの発生を減じたり、あるいは防止できる構造の薬袋の提供を課題とする。

【0.0.0.5】

【課題を解決するための手段】かかる問題点に鑑み、本発明者らは、収納されている薬を確認できるように、薬袋の少なくとも一方の袋片身を半透明とし、その表面側をプリント面とすると共に、袋片身を紙製部材とすることで、上記目的を好適に達成できることを見出し、本発明を想到した。

【0006】すなわち、本発明における薬袋は、開口部が施された薬袋であって、該薬袋の袋部を形成する袋上片身と袋下片身の内、少なくとも一方が半透明であると共にその表面側がプリント面とされてなり、かつ、前記袋上片身と前記袋下片身とが共に紙製部材からなることを特徴とする。

【0007】本発明はこのような構成を採用したことにより、薬袋から収納されている薬を取り出すことなく、半透明の袋片身を透してこれを確認でき、そのプリント面に印字された患者情報に基づき、収納状態の薬と対比して説明を行えるので説明が大変行い易く、特に、収納

された薬の種類が複数の場合においては説明の効率がよい。

【0008】さらに、袋片身の部材を、透明性や半透明性を有するが、加熱や加圧により伸縮を生じ易い合成樹脂フィルム、例えば、ポリエチレンテレフタレート、ポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレン、セロハン、酢酸セルロース、ポリ塩化ビニルなどとするのではなく、加熱や加圧により伸縮が生じ難い紙製部材、例えば、上質紙、アート紙、コート紙、合成紙や半透明性を有するトレーシングペーパーなどの各種含浸紙、合成樹脂添加紙などを組み合わせて構成することで、その製造時あるいはプリント時、その加工上必要な押圧ないし加熱によるシワの発生を減じたり、あるいは防止できる。

【0009】

【発明の実施形態】次に、本発明の実施形態を図面に基づき説明する。なおここにおいて、図1は本発明の第一の実施例である薬袋の表面斜視図、図2は図1のX-X線断面図、図3は図1の薬袋の使用状態説明図、図4は本発明の第二の実施例である薬袋の表面斜視図、図5は図4の薬袋の裏面斜視図、図6は図4のX-X線断面図、図7は図4の薬袋の使用状態説明図である。

【0010】第一の実施例における薬袋1は、図1および図2に示す如く、第一の実施例の薬袋1は、半透明の含浸紙からなる袋上片身2と上質紙からなる袋下片身3とが重ね合わせられ、所定の水系エマルジョンタイプの接着剤4をもって該袋上片身2と該袋下片身3とが接着されてなる。そして、袋上片身2の表面側はプリント面Pとされたと共に、未接着状態の一辺が開口部6となる。

【0011】袋上片身2の表面側はプリント面Pとされており、その全面にインク受容層5が形成されている。本実施例のインク受容層5はポリビニルアルコール類のバインダと合成シリカなどの顔料からなる塗膜により形成されている。なお、本発明におけるプリント面は、本実施例のようにインク受容層を設け、そのインク受容層に印字するものであっても、後述する第二の実施例のように袋片身自体に直接印字するものであっても構わない。

【0012】次に、本実施例の薬袋1の使用例について、図3に基づいて説明する。上述の如く構成された薬袋1は、医療機関、薬局などにおいて、医師の処方箋に基づいて各種の薬が収納され、薬袋1の袋上片身2のプリント面Pに形成されたインク受容層5上には、インクジェットプリンタをもって、患者名、薬名、日付、服用方法などの患者に関する情報が印字され、収納した薬との再確認を透明な樹脂フィルムからなる袋上片身2を透して行う。

【0013】次に、第二の実施例を示し、本発明をさらに詳述する。本実施例における薬袋11は、図4ないし図6に示す如く、半透明の含浸紙を二つ折りしてなる袋上片身2と袋下片身3とを重ね合わせ、折り辺以外の三

周辺が接着剤4により接着され、袋下片身3における折り辺を含めた三周辺の縁部に沿って複数の空気抜き孔7が穿設されている。そして、袋上片身2の表面側はプリント面Pとされ、袋下片身3の所定部にはスリット加工により形成された開口部6が設けられている。

【0014】次に、本実施例の薬袋11の使用例について、図7に基づいて説明する。上述の図4ないし図6に示すように構成された薬袋11は、医療機関、薬局などにおいて、医師の処方箋による印字内容に基づいて各種の薬が収納されると共に、薬袋1の袋上片身2のプリント面P上に、感熱リボンプリンタをもって、患者名、薬名、日付、服用方法などの患者に関する情報が印字され、収納した薬との再確認を半透明な袋上片身2ないし袋下片身3を透して行う。

【0015】なお、本発明においては、プリント面Pには印刷により予めプリント欄を設けたり、あるいは袋下片身の外面あるいは内面に、例えば、一般的な注意事項、問い合わせ先情報などを印刷により設けてもよい。また、一方の袋片身のプリント面に印字された情報を読み取るのに、その印字色を鑑み、最も読み取り易い色に着色してもよい。

【0016】

【発明の効果】上述したように、本発明の薬袋は、収納されている薬を確認できるように、薬袋の少なくとも一方の袋片身を半透明とし、その表面側をプリント面とすると共に袋片身を紙製部材とすることで、薬袋から収納されている薬を取り出すことなく、半透明の袋片身を透

してこれを確認でき、そのプリント面に印字された患者情報に基づき収納状態の薬と対比して説明を行えるので、説明が大変行い易く、特に、収納された薬の種類が複数の場合においては説明の効率がよい。さらに、その製造時あるいはプリント時、その加工上必要な押圧ないし加熱によるシワの発生を減じたり、あるいは防止できる、などといった効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一の実施例である薬袋の表面斜視図。

【図2】図1のX-X線断面図。

【図3】図1の薬袋の使用状態説明図。

【図4】本発明の第二の実施例である薬袋の表面斜視図。

【図5】図4の薬袋の裏面斜視図。

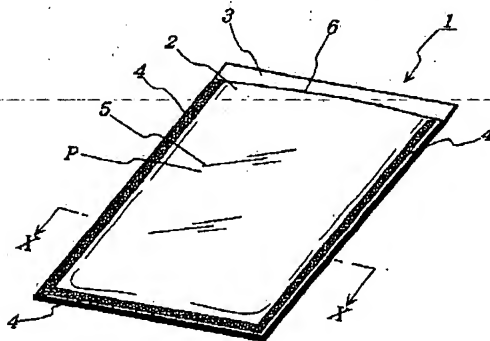
【図6】図4のX-X線断面図。

【図7】図4の薬袋の使用状態説明図。

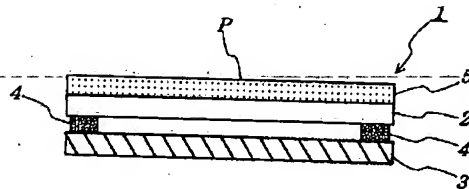
【符号の説明】

- 1、11 薬袋
- 2 袋上片身
- 3 袋下片身
- 4 接着剤
- 5 インク受容層
- 6 開口部
- 7 空気抜き孔
- P プリント面

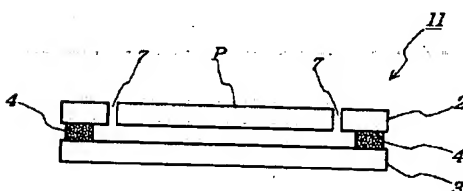
【図1】



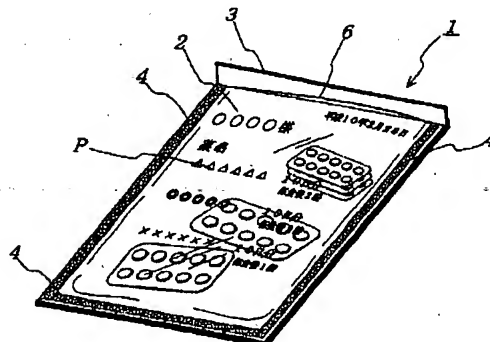
【図2】



【図6】



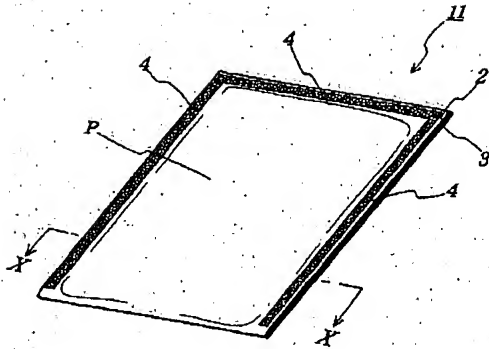
【図3】



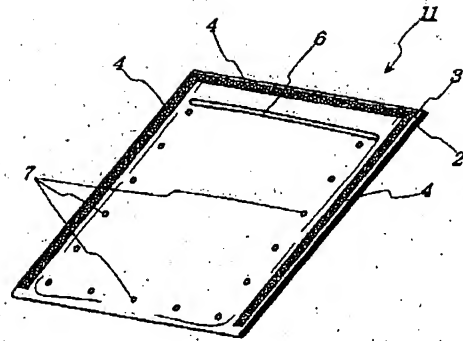
(4)

特開2000-190984

【図4】



【図5】



【図7】

